

コーチライセンス制度 概要②

③大会レベルと適用範囲

公式戦をレベル分けし、レベル別に必要資格の基準を定めます。

ベンチで指揮をとる(スコアシートにサインする)コーチは必要資格を保有していることとします。

レベル	範囲	大会	必要資格	対処(特別措置)
レベルⅠ	国際大会	日本代表戦	JBA公認A級コーチ以上	
レベルⅡ	トップリーグ	JBL、WJBL、bjリーグ	JBA公認B級コーチ以上	
レベルⅢ	全国大会 各種別ブロック大会	天皇杯・皇后杯(オールジャパン)、全日本社会人選手権、全日本実業団、全日本クラブ、インカレ、インターハイ、ウインターカップ、全中、全国ミニ、国体、マスターズ、ジュニアオールスター、全日本教員、全国高専、全国専門学校、全日本クラブシニア、全日本クラブスーパーシニア、全国ママさん、および各種別ブロック大会	JBA公認C-2級コーチ以上	・受講中の場合は認める。 ・チーム就任1年目に限り免除とする。 ※但し、国体(ブロック国体含む)は資格保有を必須とする。
レベルⅣ	都道府県大会	都道府県大会 ※但し、地区大会(予選)が行われ ない都道府県大会は各都道府県協 会で定めることとする。	JBA公認D級コーチ以上	・受講中の場合は認める。 ・チーム就任1年目に限り免 除とする。
レベルⅤ	上記以外の公式戦 (都道府県内地区大会)	全国定通制大会	JBA公認E-1級コーチ以上	・受講中の場合は認める。 ・チーム就任1年目に限り免 除とする。 ※バスケットボールを専門と しない引率者(顧問)のみJBA 公認E-2級コーチでも認める。

*大会のレベル分けについては、各連盟や関係団体と今後調整し、最終決定する。

④段階的施行

2011年度より一部改定を行い、2015年に完全施行を目指して段階的に施行していきます。

実施内容	大会参加条件
2011年度 ▼ 1年目 ・資格名称の変更 ・日体協上級指導員養成講習会の開催中止	周知・徹底のみ (現行通り)
2012年度 ▼ 2年目 ・JBA公認E-1級、E-2級コーチの養成開始(予定)	周知・徹底のみ (現行通り)
2013年度 ▼ 3年目 ・登録有効期間を1年間に(以後、1年更新) ・登録開始時期の統一(4月登録) ・試合会場でのコーチ証ぶら下げ開始	持っていることが 望ましい。
2014年度 ▼ 4年目	原則として 持っていること。
2015年度 5年後 ・完全義務化	必ず持っていること。

⑤リフレッシュ研修

2011年度以降リフレッシュ研修をポイント制とし、JBA公認D級コーチ以上の資格については、更新のための必須内容としてポイントの取得を義務付けます。また、リフレッシュ研修の受講管理はTeamJBAにて行います。

[必要ポイント数] : 2ポイント

[ポイント基準] : (1) 1.5時間の講習会 : 1ポイント

(2) 3時間の講習会 : 2ポイント

(3) JBA又は都道府県協会が指定する試合観戦及びレポート提出 : 1ポイント

※詳細の内容はJBA公式サイトで順次公開いたしますのでそちらをご確認ください。

また、今後関係団体等との調整等により、一部内容に変更が生じる場合もありますので予めご了承願います。